

# 豊平河畔 だより

北海道社会保険病院



「クリスマスコンサート」平成23年12月15日(木)開催  
出演 有賀 敏先生(当病院産婦人科主任部長)  
Dolceの皆さん  
松島瑛子さん(サンビュー中の島音楽療法士)  
北海道社会保険病院内グリーンモールにて

病院理念

患者さんを中心とした質の高い医療を提供し、地域から信頼される病院を目指します。

基本方針

- 1.患者さんの権利を尊重し、人間愛を基調とした医療に努めます。
- 2.安全で安心できる医療に努めます。
- 3.説明と同意を基本とする医療に努めます。
- 4.地域の医療・福祉施設との連携を推進します。
- 5.地域の健康増進を目指し、保健予防活動を推進します。

# 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



病院長 岸 不盡彌

今年は辰年ですが、安心して穏やかに生活できる年であってほしいと思います。昨年を振り返りますと、3月11日の東日本大震災が引き起こした災害は未曾有のもので、そこに福島第1原発の壊滅的事故が加わり、わが国の政治・経済・社会に及ぼした衝撃は計り知れないものがあります。被災者の方々には、心より哀悼とお見舞いの気持ちを改めて申し上げたいと思います。

震災に関する社会保険病院グループが行った活動の一端を紹介させていただきます。被災地仙台には社会保険病院が3つあり、東北厚生年金病院、仙台社会保険病院は甚大な建物の被害を受けました。東北厚生年金病院では300人の患者さんを他院に移送し、仙台社会保険病院では1週間で1100人余の腎透析を行ったということです。宮城社会保険病院は名取市との境界にあり、津波被災者の治療や避難所医療を行いました。福島県にある二本松社会保険病院は、原発事故後に避難者の医療・介護を担当しています。社会保険病院グループでは東京の全社連本部に医薬品、食料など支援物資を集め、3月13日から仙台3病院にトラックで連日送りました。当院では札幌社会保険総合病院と協同で直接支援物資を送り、仙台市と宮城県に義捐金を送りました。3月23日から南三陸町での医療支援活動を全国の社会保険病院が1週間交代で4月末まで行いました。当院では気仙沼市の腎透析患者2人が、約2ヶ月間入院治療することに協力しました。

例年日本社会保険医学会総会は秋に開催されますが、震災による計画停電や会場の都合で群馬開催が中止になり、急遽12月に福岡で開かれました。社会保険久留米第一病院の担当で「災害に学ぶ」というテーマで、被災3病院の現地報告をはじめ、パネルディスカッション、特別講演など6つの特別企画が行われるとともに、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、臨床工学士、介護福祉士、事務職など病院で働く全ての職種の職員それが震災を機に経験したことや、今後の対策などの結果を報告し互いに共有出来たことは、最大の演題数とあわせ大きな成果でした。

なお、社会保険病院は、現在社会保険庁から「独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構RFO」に出資されていますが、昨年6月RFOを「独立行政法人地域医療機能推進機構」に改組する法案が国会において成立し、26年4月までに経営母体が新機構へ変更されることになりました。これまで社会保険病院の存続のために、地域住民の方々、札幌市医師会の先生、札幌市議会の決議など多くの方々のご支援を頂きましたことに感謝申し上げます。

当院では、これまで同様「患者さんを中心とした質の高い医療を提供し、地域から信頼される病院を目指し」、安全で安心できる医療を提供するよう努めていく所存であります。

新しい年を迎え、今年も地域連携相談室を中心に、患者・利用者のために地域の先生方と協力して医療を担っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

# 地域連携相談室からの お知らせ

## かかりつけ医をお持ちですか

地域連携相談室長 本間 しのぶ



最近「かかりつけ医」という言葉を患者の皆様もよく耳にするようになったと思います。「かかりつけ医」とは病気になったとき、気軽にいつでも診てもらえる地域の診療所やクリニックのお医者さんです。日常的な診療のほか、家族一人ひとりの病気の予防から健康管理のアドバイスをしてくれます。

当病院は皆様の生活に密着した良質な医療を行うために、お住まいや職場の近くに「かかりつけ医」をお持ちいただくことをお勧めしています。日常の診療やお薬の処方は、「かかりつけ医」が行い、精密検査や専門的な治療が必要になった場合には、かかりつけ医が当病院を含め適切な医療機関を紹介してくれます。診療所と病院がそれぞれ役割を分担し、連携して、効率的な診療にあたります。

### ～かかりつけ医を持つとどんな良いことがあるでしょう？～

1. 健康に関する情報を管理してもらえます。
2. 幅広く病気を診てもらえます。
3. 必要なときに専門医を紹介してもらえます。
4. 診察の待ち時間が短くなります。

当病院より、かかりつけ医をご紹介させていただく際には、これまでの病状や治療内容などを記載した「紹介状」を医師よりお渡します。

地域連携相談室では、お住まいや職場近くの「かかりつけ医」をお探しするご相談を受け付けています。いつでもご相談ください。

また、地域医療機関マップやかかりつけ医についてのパンフレットを整形外科外来横に設置しておりますので、参考にしてください。

紹介状をお持ちになり当病院を受診された患者さんは、紹介先がかかりつけ医になります。



column  
03

## 子どもと家族に やさしい病棟を目指して

小児科病棟看護師 佐々木 満代



子どもの権利条約を受け、小児看護領域では「子どもの最善の利益」を第一に考えることが求められるようになりました。その看護実践の一つとして近年多くの施設で取り組まれているのが「プレパレーション」(Psychological Preparation)です。心の準備と訳され、医療を受ける子どもが感じる情緒的不安を和らげ解消させるように、医療者が子どもの心の準備に関わることです。プレパレーションには、1. アメニティー 2. アセスメント 3. 注意転換法 4. ごっこ遊び 5. 処置後遊びの5段階があります。この5段階に沿って、当小児科病棟では3年前から取り組み始めました。

### 子どもと家族にやさしい環境～アメニティー作り

はじめて入院する子どもたちは、親(保護者)にぴったりとくつき、不安を感じて泣き、新しい環境に対して五感をフル活用して敏感に反応しています。

そんな子どもたちのために、私たちは病棟保育士と共同し、病棟環境のアメニティー作りとプレイルームの改装を始めました。病棟の廊下や処置室、病室、トイレは子どもの目線に合わせて天井や壁に装飾を行いました。また、プレイルームはコーナー別にし、絵本は子どもが自分で選べるように配置し、DVD・ビデオを鑑賞できるコーナー、ぬりえやお絵かき、おままごと、ミニカーのコーナーを作りました。また、入院している子どもに付き添うお母さんが読める本も準備し、病棟保育士による「おすすめ絵本」を紹介するコーナーを設置しました。「この絵本を読ませたいので見せて欲しい。」というお母さんから声をかけられることもあり、入院してきた子どもたちの表情はこのプレイルームを見て、ぱっと輝き、症状が軽快すればすぐに遊び始めています。特に乳幼児期の子どもにとって遊びは生活そのものです。入院している子どもの遊びたい意欲を大切にし、成長発達を妨げることのないよう、これからも子どもと家族にやさしい環境作りをしていきたいと考えています。

### 子どもへの説明

説明や処置を行う際には、可能なかぎり、子どもの不安を緩和するために家族に付き添いをお願いしています。

次にプレパレーションアセスメントでは、状況を把握し、発達段階に応じた多様な方法を検討することです。幼児期(幼児前期: 1~3歳・幼児後期: 3~6歳)は運動、感覚、実際の体験を通して

学ぶ時期にあります。注意転換法で母親とともに、音や光のできるおもちゃで刺激を与えて気をそらしたり、DVDを使用することも効果的です。「もしもし(聴診器)」「しゅぼしゅぼ(血圧計)」など、子どもが感じる感覚を伝え、母親やぬいぐるみに実際に実際に行なってから測定をすることもあります。幼児後期になると興味のあるキャラクターなどの視覚的なツールを使用しながら、日常的なわかりやすい言葉で必要性や重要性を説明すると、理解することができるようになります。集中できる時間は10分くらいであり、手術前後の説明は「紙芝居」を使用しています。また、処置は実際に使うものに触れたり、写真の入ったパンフレットなどで説明すると効果的です。幼児後期から学童期の子どもには、やる気に寄り添い、頑張ったご褒美シールを手作りのキャラクターペーパーとともに使用しており、次につながるように支援していきたいと考えています。

簡単な医療処置や日常的な処置であっても、子どもにとっては決して簡単ではなく、心理的な影響を受けていることもあります。今後は、医療処置後のストレス緩和のためのケアとして、子どもたちが自分の気持ちを表現していくための、ごっこ遊びや、処置後の遊びを通して受け入れていけるよう病棟保育士とも共同し環境を整えていくことが課題です。



## 健康教室のご案内

当病院では、健康への正しい知識を深める機会として、毎月2週にわたって健康教室を開催しております。

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等が分かりやすくお話しします。  
どなたでも無料でご参加いただけます。



**場所** 外来棟1階ホスピタルモール  
(エスカレーター裏側)

**時間** 11:30~12:00

**予約** 予約はいりません。  
どなたでも無料でご参加いただけます

※開催日など詳しくは、ホームページやチラシをご覧ください。

外来の待合場所が会場です

整形外科

中央  
処置室

会計窓口

エスカレーター  
会場はこちら

再来  
受付機

正面玄関

## 健康教室から検査技師のお話です

# 検査値の見方

検査部 佐藤 恵美子

病院では健康診断を含め、病状に応じて様々な検査が行われています。検査には主に放射線検査や超音波検査の様に画像で示されるものと、血液検査や尿検査の様に数値で示されるものがあります。今回は当病院で行われている主な血液検査のお話をします。

### 〈生化学検査〉

肝臓・胆のう・胰臓・腎臓の働きを見る検査

動脈硬化の原因となるコレステロールや中性脂肪を見る脂質検査

心筋梗塞などの心臓の病気や筋肉の病気を見る検査

### 〈血液検査〉

貧血や白血球・血小板の数を見る検査

### 〈糖代謝検査〉

血糖やHbA1cなど糖尿病のコントロールの指標になる検査

### 〈感染症検査〉

肝炎ウイルスや梅毒などに感染していないかを見る検査

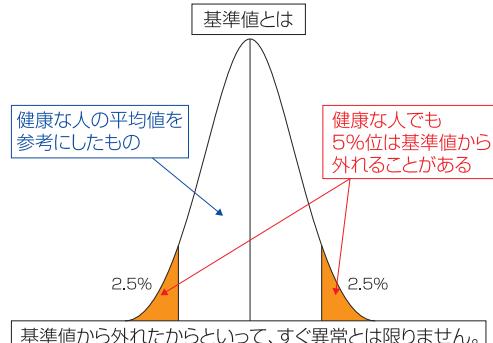
その他にも炎症反応、腫瘍マーカーや甲状腺のホルモンを見る検査などもあります。

必要な時はさらに詳しい検査をするときもあります。

みなさんが検査を受けた時に、検査結果を印刷された紙を渡される時があると思います。各々の検査項目のところに基準値というものが記されています。以前は正常値と表現されていました。基準値とは健康な人の平均をとったものです。この基準値は測定する機械や試薬、測定方法によっても異なるため、病院によって若干の違いがでてくることもあります。健康な人でも5%位は基準値から外れることがあります。また生理的変動によってかなり左右される項目もあります。大切なことは少し値が基準値から外れたからといって神経質にならないで、今までの自分の検査値とどの程度変化しているかを比べることです。自分なりの基準値を知っておくことも大切なポイントのひとつです。

なお、各々の検査項目については院内で配布している「検査値の見方」を参考にしてください。疑問に思うこと、わからないことは遠慮なく医師や看護師に尋ねてみましょう。

2ヶ月に1度健康教室でもお話ししています。興味のある方は是非聞きにいらしてください。



# リハビリテーション部

リハビリテーション部技師長 館 博明

リハビリテーション部は、部長の庄野整形外科主任部長と13名のスタッフで構成され、理学療法部門(理学療法士8名、鍼灸マッサージ師1名)、作業療法部門(作業療法士1名)、言語療法部門(言語聴覚士3名)の3部門に分かれて業務を行っています。

施設基準は、運動器リハビリ(I)、呼吸器リハビリ(I)、心大血管リハビリ(I)、脳血管疾患リハビリ(II)を取得しています。

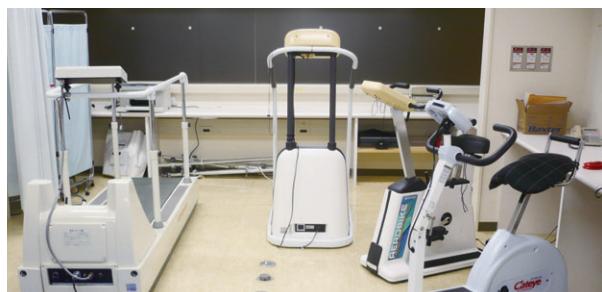
理学療法部門は、呼吸療法認定士、心臓リハビリテーション指導士、糖尿病療養指導士などを取得している専門スタッフが中心となり、術前・術後早期の対応や退院・転院までのリハビリテーションを提供しています。その他にも、めまいのリハビリテーション、廃用症候群に対するリハビリテーション、小児疾患に対するリハビリテーションなど幅広く対応しており、日々努力しています。作業療法部門は、診療科にとらわれず上肢機能障害、高次機能障害、日常生活動作障害などを有する患者さんに積極的に対応しています。言語療法部門は、失語症や構音障害の治療、摂食・嚥下障害の治療や、耳鼻咽喉科外来での聴力検査なども行っています。

リハビリテーション部の理念として、「常に専門性を追求し、医学的根拠に基づいたリハビリテーションを提供する」「患者様の生活の質向上のために総合的なチーム医療を提供する」「地域に根ざした、包括的リハビリテーションサービスを提供する」を掲げ、発症および入院早期からのリハビリテーションの開始と個別重点的リハビリテーションを実践しています。

今後は、更に専門的かつより重点的に患者さんの治療に取り組んでいけるよう、スタッフの増員、スタッフ教育の充実、より密なチーム医療の展開を目指していきます。



リハビリテーション室



心臓リハビリテーション室



ADLシミュレーションボード



リハビリテーション部スタッフ

## 症例検討会のお知らせ

北海道社会保険病院では、地域の先生方との研修・交流の場として症例検討を中心とした勉強会を開催しています。

### リバーサイド消化器懇話会

**第30回**  
日 時:平成24年3月16日(金) 18:30~  
場 所:パークホテル

### 南部呼吸器懇話会

**第30回**  
日 時:平成24年2月24日(金) 18:30~  
場 所:北海道社会保険病院 3階講堂

詳細は地域連携相談室までお問い合わせください。

## 症例検討会を実施しました

### 第29回

#### 札幌南部呼吸器懇話会

日 時:平成23年10月12日(水) 18:30~

場 所:北海道社会保険病院 3階講堂

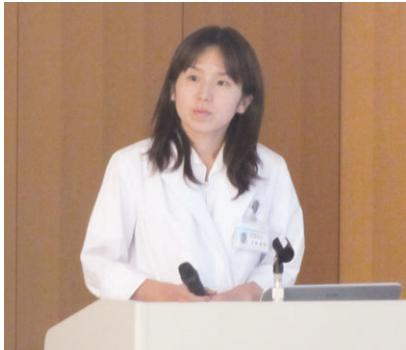
参加者:院外 8名 院内 8名

コメディカル 5名

講 演:「肺アスペルギルス症の診断と治療のコツ」

北海道社会保険病院

水島亜玲先生の講演がありました。



### 第29回

#### リバーサイド消化器懇話会

日 時:平成23年11月15日(火) 18:30~

場 所:北海道社会保険病院 3階講堂

参加者:院外 13名 院内 13名

コメディカル 6名

講 演:「直腸脱の外科治療」

北海道社会保険病院

小丹枝裕二先生の講演がありました。



### 第19回

#### 豊平・清田・南区循環器懇話会

日 時:平成23年11月22日(火) 19:00~

場 所:北海道社会保険病院 3階講堂

参加者:院外 23名 院内 14名

コメディカル 8名

講 演:「低侵襲心臓手術の現状と将来」

大阪大学大学院医学系研究所

倉谷徹先生の講演がありました。



## 災害救急指定日

**平成24年1月26日(木)・平成24年2月2日(木)・平成24年2月23日(木)  
平成24年3月4日(日)・平成24年3月19日(月)**

## 二次救急指定日

### 循環器・呼吸器系

平成24年2月12日(日)・平成24年3月14日(水)

### 消化器系

平成24年1月14日(土)・平成24年2月8日(水)  
平成24年3月11日(日)・平成24年3月29日(木)

### 小児系

平成24年2月22日(水)・平成24年3月6日(火)



変更になる場合がございます。当日の新聞等で確認をお願いいたします。